

科目名		担当責任者	
臨床運動学		沖雄二	
Clinical Kinesiology			
標準履修年次	必修選択別	単位数	科目ナンバー
1年・後期	必修	1単位	2C108
授業の概要(ねらい)			
<p>本科目は、人間の身体運動に関する基本的な知識を学習する。</p> <p>人間の動きはどのようにして行われているのか理解する。</p> <p>臨床運動学を理解するには、物理学,解剖学での骨格の理解が必要である。</p> <p>上肢の運動,下肢の運動について具体的に説明し理解する。 学修方法は、グループによる演習を通してこれらを理解する。</p> <p>授業毎に課題を提出し知識の習得を図ります。</p> <p>本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は、作業療法士として20年以上の臨床経験があり、その実務経験を活かし、作業療法士に必要とされる基礎知識を解説し、身体障害・高齢期の専門領域について導入的に説明します。</p>			
授業の到達目標			
<p>【ディプロマ・ポリシーとの関連:②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 膝関節について説明できる。 2. 足関節について説明できる。 3. 重心と姿勢について説明できる。 4. 歩行周期について説明できる。 5. 歩行分析について説明できる。 6. 歩行時の筋活動について説明できる。 7. 立ち上がり動作、姿勢保持について説明できる。 8. 異常歩行について説明できる。 			
成績評価の方法および基準			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題レポート50%、課題レポートのフィードバックは次回授業時に行う。 2. 定期試験50% 3. 欠席1回毎に最終成績から1点減点する <p>以上の割合で評価します。 課題レポートについては、配布するルーブリックによって評価します。</p>			
教科書		参考書	
「基礎運動学 第6版」 中村隆一 医師薬出版株式会社		「観察による運動・動作分析演習ノート」 藤澤宏幸・長崎浩 医師薬出版株式会社	
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容およびそれに必要な時間			
<p>授業に該当する部分の教科書を読んでおくこと</p> <p>【事前学修】 ・講義前に教科書を熟読し内容を理解する。わからない場合は調べてノートに記載すること。</p> <p>【事後学修】 ・授業内容でわからなかった箇所は教科書、参考書等を活用し解決に努める。解決できない場合は、教員へ質問し解決させる。</p> <p>【必要時間】 ・当該期間に15時間以上の予復習が必要です。</p>			
その他履修上の注意事項			
<p>無断欠席の場合、当該授業の課題提出は認めない。 この科目とディプロマ・ポリシーとの関連をカリキュラム・マップを参照し、理解すること。</p>			

回数	担当者	授業内容
1	沖雄二	1. 膝関節の運動 膝関節の構造と特徴を把握し関節運動を理解する。
2	沖雄二	1. 足部の運動 足関節の構造と特徴を把握し関節運動を理解する。
3	沖雄二	1. 重心と姿勢 重心の位置から姿勢保持を理解する。
4	沖雄二	1. 歩行周期 人間の歩行について理解する。
5	沖雄二	1. 歩行分析 歩行と力の関連から歩行分析を理解する。
6	沖雄二	1. 歩行と筋活動 歩行時の筋活動について理解する。
7	沖雄二	1. 動作分析 立位保持について理解する。
8	沖雄二	1. 異常歩行 歩行状態を分析し異常歩行を理解する。